

編集部【e-mail】cs-edit@wlpn.or.jp【TEL】03-5341-6957 購読課【e-mail】cs-read@wlpn.or.jp【TEL】03-5341-6958【FAX】03-5341-6960

■定期購読料・1部(税込、前払い)
紙代 送料 合計
●3か月…2,700円+480円=3,180円
●6か月…5,400円+960円=6,360円
●12か月…10,800円+1,920円=12,720円
■海外・1部12か月(非課税、送・手数料含)
船便(各国共通)16,464円
航空便(地域別)18,960円~22,992円
電話口番 00150-8-101512のちのことば社ジャーナル出版部購読課
※お申し込み・お問い合わせは上記購読課まで。
※便利な口座自動引き落としもご利用下さい。
いのちのことば社クリスチャン新聞
〒164-0001 東京都中野区中野 2-1-5

◆THE CHRISTIAN◆
クリスチャン新聞
6/23 2013
http://jpnews.org
1部 225円(税込)

日本育ち宣教師の娘が撮った映画で贖罪と「ひろしま」…8
JEA、異端疑惑で揺れる韓基総と協力解消…2
近畿県人会で大阪市長のために祈る…2
提言・一般恩恵論から宣教の見直しを…3
日本人でないとなぜ苦しいと感じる?…7



明治学院白金キャンパス(東京・港区)の昼時、チャペルに集まる学生たち

ヘボン塾から150年 人格教育を繋ぐ礼拝

午前の授業が終わり12時半ごろ、昼食をさしおいて礼拝堂に吸い込まれていく学生たちがいる。ヘボン式ローマ字で知られる宣教医師ジェームズ・C・ヘボンがクララ夫人を助けて1863年(文久3)11月に始めたヘボン塾を源流とする明治学院は、今年創立150周年を迎えた日本最古のキリスト教主義学校だ。ヘボン夫妻が掲げた「キリスト教に基づく人格教育」を建学の精神として受け継ぐ明治学院にとって、日々のチャペルアワーは代々その役割を果たしてきた。長い歴史を繋いできたキリスト教主義学校の学内チャペルを訪ねる。(4~5面にキリスト教主義学校特集)

責任「日本福音同盟神学委員会編、いのちのことば社発行」が刊行された。2011年に発生した東日本大震災における原発問題への課題や対応を検討するため、JEA理事会はその作業を専門委員会の神学委員会(山口陽一委員長)と社会委員会(渡辺敏直委員長)に付託していたが、これは神学委員会としての見解をまとめたもの。

昨年6月の総会時、JEAは安藤能成理事長名で「東日本大震災から一年を経たの理事長所感」を発表した。そこでは、無反省なエネルギー利用を続けてきた加害者としての悔い改め、原発問題に限らずさまざまな社会的問題についての正しい認識と社会への発言の重要性、神が完全なものとして創造された被造物世界をキリストの正しい支配に位置づけることの必要性が表明された。

今回福音派の諸教団・教派・教会が加盟するJEAの神学委員会が、委員会としての討議を経てその見解を公にしたことの意味は大きい。内容は、6人の委員が「原発と私たちの歴史的責任(山口陽一)ほか、それぞれのテーマで行った発表と、それに対する委員会での議論をふまえて、各自の責任においてまとめた論文集。神学委員会は今後とも研究を継続する。

社会委員会は、原発問題を抱える社会的課題について講演会や研修会を続けてきたが、その内容をブックレット「第23・24回合併号 JEA宣教の自由セミナー報告書」にまとめた。(2面に詳報)

公開シンポジウム「東日本大震災で問われたもの」で発題したのは、住吉英治(同盟基督・勿来キリスト福音教会牧師、福島県キリスト教連絡会)、森恵一(保守バプ

憲法危機 緊急祈禱会へ

日本福音同盟(JEA)安藤能成理事長、品川謙一(総主事)は第28回総会を6月3~5日、2016年第6回日本伝道会議の開催予定地・神戸市のホテルで開き、東日本大震災以後のさらなる被災地支援と次の大災害に備える取り組みなどを主とする2013年度事業計画案を決議した。12年度事業報告では神学委員会と社会委員会を取り組んできた原発問題についての検討結果を報告。総会プログラムも東日本大震災で問われた「まるとの(ホーリスティックな)福音」に対応、被災地支援の現場からの声に聞きつつ、教会が担ってきた福音宣教のあり方に焦点が当てられた。

JEA第28回総会 震災で問われた福音に焦点 被災地支援を継続 福島で宣教フォーラム

「原発問題」検討結果を発表

2日目の特別講演会では賀川賢明氏(賀川記念館館長)が「痛みのシェアー」賀川豊彦たちが遺したもの」と題して講演。賀川豊彦たちが自ら救霊団、イエス団と呼

び、牧会集団と自認して活動していたことを紹介。貧困救済や協同組合運動などの社会的実践の根底には、イエス・キリストに倣う「痛みのシェアー」があったとし、福音を見える形で実践することの重要性を語った。JEAでは被災地支援の取り組みとして、当初2年間としていた東日本大震災対策室の活動期間を2014年3月まで1年間延長することを打ち出した。宣教委員会では「フクシマと年々広がる宣教」をテーマに「宣教フォーラム・福島」を11月18~19日、福島県郡山市で開催する。宣教フォーラムは、次期伝道会議を目指して毎年開催されてきたが、震災以降東北で行われ、一昨年の秋田、昨年の仙台に続き、今年は福島を会場とする。

現在の社会状況の認識として、安藤理事長は事業計画案で昨年末の衆議院議員選挙の結果として右傾化の兆しに言及、憲法論議及びアジア諸国との関係に危機感を表明した。社会委員会は7月12日「憲法を変えさせない緊急祈禱会」をお茶の水クリスチャン・センタで開催する。

第6回日本伝道会議(2016年9月27~30日)に関しては総会プログラムの中で「JCE6テーマフォーラム」を開催、①次世代を育てる、②働き人を育成する、③地域で宣教のために協力する、④この国で主に仕える、⑤世界宣教に貢献する、⑥教会・教団が互いに任せ合う、の各テーマに分かれて話し合った。